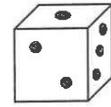


サイコロは、向かい合う面の目の数の和が7になっています。



サイコロ

いくつかのサイコロを、その面どうしがちょうど重なるように貼り合わせます。

貼り合わせてできた立体で、重なって隠れた面の目の数の合計を「ウラの和」、隠れていない面の目の数の合計を「オモテの和」ということにします。

たとえば、2個のサイコロを図1のように貼り合わせたとき、「ウラの和」は6、「オモテの和」は36です。



図1

(1) 3個のサイコロを図2のように貼り合わせます。

「オモテの和」として考えられるもののうち、もっとも大きい数ともっとも小さい数をそれぞれ答えなさい。

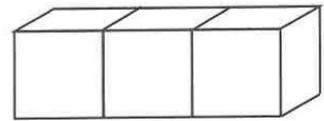
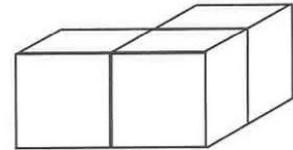


図2

(2) 3個のサイコロを図3のように貼り合わせるとき、「オモテの和」が「ウラの和」でわり切れることがあります。このような「オモテの和」として、考えられるものをすべて答えなさい。



(3) 4個のサイコロを図4のように貼り合わせるとき、「オモテの和」が「ウラの和」でわり切れることがあります。

このような「オモテの和」として、考えられるものをすべて答えなさい。

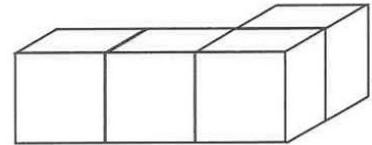


図4

(4) 4個のサイコロを貼り合わせるとき、「オモテの和」として考えられるもののうち、もっとも大きい数ともっとも小さい数をそれぞれ答えなさい。

【式と考え方】

(1)	もっとも大きい	もっとも小さい
(2)		
(3)		
(4)	もっとも大きい	もっとも小さい